



学校だより

<http://fussa-3e.hs.plala.or.jp/>

令和5年6月30日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

子供は行事で育つ

校長 浅倉 宏之

『子供は行事で育つ』とよく言われます。しかし、ここ3年間はコロナ禍の影響により、その行事のほとんどが挙行できなくなり、挙行できたとしても縮小したり、内容を大きく変更したり、以前とは全く別の行事に差し替わったものさえありました。行事を通して他者と関わり、その中で衝突をしたり、協力をしたり、認め合ったり、支え合ったりと、様々なことを経験します。教科書や教室の学びでは育てられない子供たちの力を育てられるのが行事であり、『子供は行事で育つ』と言われる所以です。

さて、6月8日から10日までの二泊三日で6年生の日光移動教室がありました。二日目こそ、雨で行程の変更を余儀なくされましたが、そのほかは大きな崩れもなく、無事帰校することができました。6年生の皆さんは訪問先できちんと挨拶をしたり、見学先で熱心に話を聞いたり、体験を率先して楽しんだり、三小の最高学年として立派に過ごすことができました。



移動教室は、小学校生活の中で大切な思い出となる行事の1つです。特に日光は、東照宮などの歴史的価値の高い文化財、奥日光の雄大な自然等、見るべきものの名を挙げていけば、枚挙にいとまがありません。

しかし何よりも子供たちの胸に刻まれる思い出は、仲間と共に生活をした二泊三日ではないでしょうか。昨今は否定的に捉えられることが多い精神論とか根性論に似た昭和風(?)の価値観かもしれませんが「同じ釜の飯を食う」ことで繋がりとか絆みたいなものが生まれるのはたぶん間違いないと思っています。この連帯感に支えられた小学校時代の友達との思い出は一生のものです。



このほかにも三小には藍染体験や和太鼓などの伝統的に行われている行事があります。また、5年生は9月27・28日に名栗自然教室があり、10月21日には運動会、12月8・9日には学習発表会と、行事が続いていきます。どの行事も学校だけでなんとかなるものでなく、たくさんの方々の協力があってこそ成り立っているものです。これらの行事がこれまで続けてこられたことに感謝し、さらに末永く継続していくために、令和風に言うと『持続可能な行事』にしていくために、改善したり廃止したりしていくことが出てくるかもしれませんが、地域・保護者の皆様にも、御理解・御協力をお願いすることが出てくると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。